



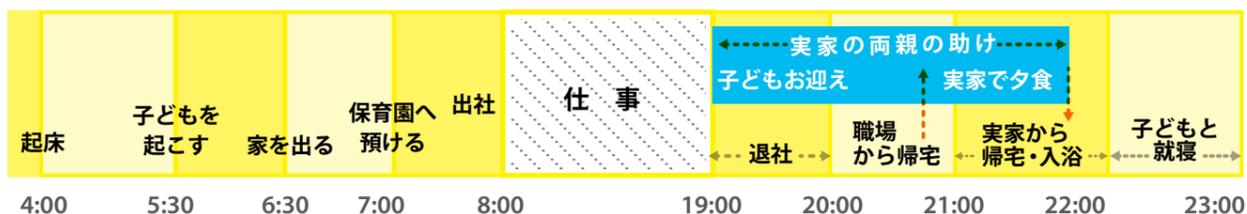
## 仕事がある日の平均的な一日

子どもの年齢（未就学か、小学生か、それ以上か）や、親族等からの日常的なサポートの有無により、また、その他の理由により、シングルファーザーの生活は大きく変わります。↗

特に、子どもが自分のことを自分でできるようになるまでは、どのようにして暮らしをつくっていくかが喫緊でありつつ、継続する課題なのです。

ここでは、小学生までの子どもを持つ4名のSFそれぞれの異なる一日を紹介します。

Aさん 親族等からの日常生活へのサポートあり 保育園児2人



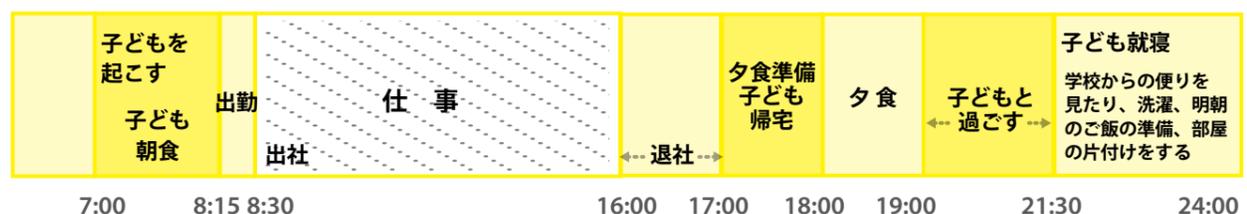
- Aさんは20代、自営業の両親はともに50代。
- 近居の両親宅は同居家族を合わせて6人。夕食時は9人に。
- 実家に家族が多いので、Aさんと子どもたちが実家で一緒に暮らすことは考えていない。

Cさん 親族等からの日常生活へのサポートあり 小学生（高学年）と中学生



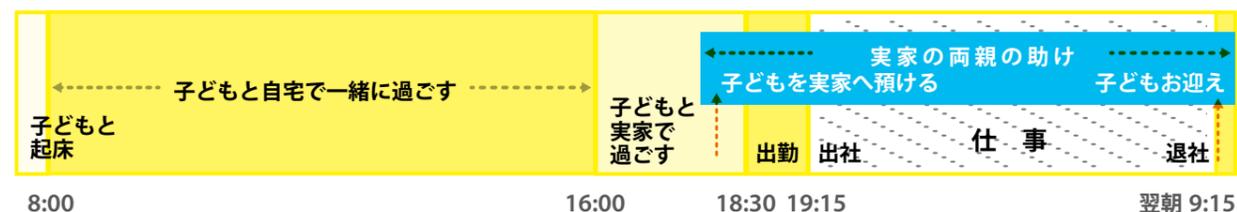
- 土日出勤で、平日に2日休みの仕事。お客さんの都合に合わせてるので、夜の時間帯に予定が入ることもあり、休日の1日（平日）は仕事に出ることも多い。
- 両親健在の実家が徒歩5分の近居。夜は、子ども共々、実家で食事。
- 子どもはきょうだい2人でいたので少しは寂しくなかったかもしれないが、土日は子どもと一緒にいてやれない。親族や地域の方々にもお世話になっている。

Bさん 親族等からの日常生活へのサポートなし 小学生（高学年）1人



- 朝は、子どもには食べさせるが、Bさん自身はあまり食べない。
- 職場は近所。遅くても16時には退社。それを条件に入社。  
★会社によっては短時間勤務制度が使える場合もあるので、確認してみましょう。
- 子どもは小学校から16時には帰ってきて、それから遊びに行く。17時半には戻ってくるように言っている。
- 買い物しつつ帰宅し、家事がスタート。

Dさん 親族等からの日常生活へのサポートあり 0歳（4か月 保育所入所前）1人



- 夜勤の仕事。夜勤が2日か3日連続し、その後、休日が2日か3日連続するパターンの繰り返し。
- 夜勤明けで実家に帰り、そのまま実家で過ごして出勤することも。
- いまは実家に預けているが、子どもが保育所に入れば保育所に預けて、迎えに行く生活に。

職場では、早く帰るので『いいね』と言われていましたが、仕事しているほうが楽です。

職場から帰って自由時間だったら、たしかに、うらやましいよねー。

休みなく家事や子どもの世話をしているのって、見えないことだからね。

家事

はじめは、心配して言ってもらえる「大丈夫？」も、嫌でしたねえ。

そう、なんか、意地になってしまってたんですよー。